

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,749
		2号炉	5,528

データ 項目	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	966	800 以上
		2号炉	3月31日	930	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	185	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	2	100 以下
		2号炉	3月31日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (チンブリング口)	1号炉	/	-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉		-	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チンブリング口)	1号炉	/	-	- m <sup>3</sup> N/h		
					-		- ppm	
ばいじん	1回/2月				-	-	-	0.04 g/m <sup>3</sup> N
					-	-	-	-
塩化水素	1回/2月				-	-	-	200 mg/m <sup>3</sup> N
			-		-	-	-	
窒素酸化物	1回/2月		-		-	-	180 ppm	
全水銀	1回/4月		-		-	-	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (チンブリング口)		2号炉	/	-	- m <sup>3</sup> N/h
							-	
ばいじん	1回/2月	-		-	-		0.04 g/m <sup>3</sup> N	
		-		-	-		-	
塩化水素	1回/2月	-		-	-		200 mg/m <sup>3</sup> N	
		-	-	-	-			
窒素酸化物	1回/2月	-	-	-	180 ppm			
全水銀	1回/4月	-	-	-	50 µg/m <sup>3</sup>			

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ		1号炉	5,587
			2号炉	5,543

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	992	800 以上
		2号炉	5月31日	974	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	186	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	3	100 以下
		2号炉	5月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	5月20日	6月12日	<0.030 m <sup>3</sup> N/h	59.1 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月					0.003 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	1号炉	5月20日	6月12日	14 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
						8 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					3.4 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	5月20日	6月12日	<0.028 m <sup>3</sup> N/h	58.6 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	煙突 <small>(サンプリング口)</small>	2号炉	5月20日	6月12日	3 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
						2 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					16 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					7.6 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,645
		2号炉	3,398

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	981	800 以上
		2号炉	5月31日	964	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	186	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	5	100 以下
		2号炉	5月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	/	- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	/	- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,667
		2号炉	3,976

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	966	800 以上
		2号炉	7月31日	958	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	191	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	3	100 以下
		2号炉	7月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	1号炉	/	-	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	-	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チンブリング口)</small>	1号炉	7月15日	8月7日	<0.025 m <sup>3</sup> N/h	54.4 m <sup>3</sup> N/h	
						<1 ppm		
ばいじん	1回/2月					0.005 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N	
塩化水素	1回/2月					10 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
						6 ppm		
窒素酸化物	1回/2月		20 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		-	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 <small>(チンブリング口)</small>	2号炉	7月15日	8月7日	<0.030 m <sup>3</sup> N/h	58.9 m <sup>3</sup> N/h
							<1 ppm	
ばいじん	1回/2月						<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	8 mg/m <sup>3</sup> N					200 mg/m <sup>3</sup> N	
		5 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	27 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	-	50 µg/m <sup>3</sup>					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,178
		2号炉	5,870

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	967	800 以上
		2号炉	8月31日	961	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	190	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	4	100 以下
		2号炉	8月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	/	/	- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	- ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,184
		2号炉	5,645

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	965	800 以上
		2号炉	9月30日	963	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	191	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	4	100 以下
		2号炉	9月30日	5	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	9月23日	10月9日	<0.023 m <sup>3</sup> N/h	53.2 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月					0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
						塩化水素	1回/2月
7 ppm							
窒素酸化物	1回/2月		22 ppm	180 ppm			
全水銀	1回/4月		1.6 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉	9月23日	10月9日	<0.029 m <sup>3</sup> N/h	59.2 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月					0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
		塩化水素				1回/2月	5 mg/m <sup>3</sup> N
3 ppm							
窒素酸化物	1回/2月	23 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月	2.0 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,802	
		2号炉	4,679	

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	10月31日	968	800 以上
			2号炉	10月31日	964	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	10月31日	194	概ね 200 以下
			2号炉	10月31日	186	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	10月31日	2	100 以下
			2号炉	10月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉		- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
				2号炉		- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
						- ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月				- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		- ppm	180 ppm
窒素酸化物		1回/2月				- ppm	
全水銀		1回/4月	煙突 (サブリング口)	2号炉		- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物		1回/2月				- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		- ppm	- m <sup>3</sup> N/h
ばいじん		1回/2月				- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
		1回/2月				- ppm	
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉		- ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月				- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,615	
		2号炉	1,319	

項目	データ		測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
	項目	データ				
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1号炉	9月30日	963	800 以上
		2号炉		9月30日	968	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1号炉	9月30日	199	概ね 200 以下
		2号炉		9月30日	191	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1号炉	9月30日	3	100 以下
		2号炉		9月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ		採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
	測定回数	データ					
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (#Aリング口)	1号炉	11月30日	12月17日	0.0087 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	11月30日	12月17日	0.0049 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ		採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
	測定回数	データ					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#Aリング口)	1号炉	11月30日	12月15日	<0.025 m <sup>3</sup> N/h	58.0 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#Aリング口)	1号炉	11月30日	12月15日	0.002 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					18 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					11 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#Aリング口)	2号炉	11月30日	12月15日	<0.036 m <sup>3</sup> N/h	56.6 m <sup>3</sup> N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#Aリング口)	2号炉	11月30日	12月15日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					23 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					14 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和2年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,677	
		2号炉	5,695	

項目	データ		測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
	項目	データ				
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1号炉	12月31日	971	800 以上
		2号炉		12月31日	957	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1号炉	12月31日	197	概ね 200 以下
		2号炉		12月31日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1号炉	12月31日	2	100 以下
		2号炉		12月31日	2	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ		採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
	測定回数	データ					
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ		採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値		
	測定回数	データ							
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h		
						- ppm			
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N		
塩化水素	1回/2月					- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N		
						- ppm			
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm			
全水銀	1回/4月		- µg/m <sup>3</sup>			50 µg/m <sup>3</sup>			
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉			/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
								- ppm	
ばいじん	1回/2月							- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	- mg/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N					
		- ppm							
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>						

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和3年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,176
		2号炉	5,844

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	1月31日	975	800 以上
			2号炉	1月31日	966	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	1月31日	194	概ね 200 以下
			2号炉	1月31日	189	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	1月31日	2	100 以下
			2号炉	1月31日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>		1回/年	煙突 (#アリング口)	1号炉		- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
				2号炉		- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (#アリング口)	1号炉	1月29日	2月17日	0.19 m <sup>3</sup> N/h	59.0 m <sup>3</sup> N/h
							<3 ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (#アリング口)	1号炉	1月29日	2月17日	0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	12 mg/m <sup>3</sup> N					200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	7 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	21 ppm					180 ppm	
全水銀		1回/4月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	4.6 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
全水銀	1回/4月	2.3 µg/m <sup>3</sup>					50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	<0.029 m <sup>3</sup> N/h	59.5 m <sup>3</sup> N/h
							<1 ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月	4 mg/m <sup>3</sup> N					200 mg/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	2 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	7 ppm					180 ppm	
全水銀		1回/4月	煙突 (#アリング口)	2号炉	1月7日	2月5日	2.3 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
全水銀	1回/4月	2.3 µg/m <sup>3</sup>					50 µg/m <sup>3</sup>	

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和3年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,200	
		2号炉	4,982	

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	967	800 以上
		2号炉	2月28日	971	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	192	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	3	100 以下
		2号炉	2月28日	2	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日	
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去	
		2号炉	稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

## 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 <small>(サブリング口)</small>	1号炉	/	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

## 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(サブリング口)</small>	1号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h			
						- ppm				
ばいじん	1回/2月					- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N			
						塩化水素	1回/2月	- mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m <sup>3</sup>			50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 <small>(サブリング口)</small>			2号炉	/	/	- m <sup>3</sup> N/h	- m <sup>3</sup> N/h
									- ppm	
ばいじん	1回/2月								- g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m <sup>3</sup> N				200 mg/m <sup>3</sup> N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm							
全水銀	1回/4月	- µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# 桜環境センター維持管理記録書(令和3年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,843
		2号炉	2,690

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	964	800 以上
		2号炉	3月31日	973	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	192	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	187	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	4	100 以下
		2号炉	3月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

	実施個所	除去を行った年月日
冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	冷却設備	1号炉
		2号炉
	排ガス 処理設備	1号炉
		2号炉

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

### 排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (#アリング口)	1号炉	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	- ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態(0°C, 1気圧)に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

### 排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した日	結果の得られた日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#アリング口)	1号炉	3月26日	<0.029 m <sup>3</sup> N/h	59.4 m <sup>3</sup> N/h
					<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#アリング口)	1号炉	3月26日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				2 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (#アリング口)	1号炉	3月26日	1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				20 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	煙突 (#アリング口)	1号炉	3月26日	- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
全水銀	1回/4月				- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	3月26日	<0.027 m <sup>3</sup> N/h	59.8 m <sup>3</sup> N/h
					<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	3月26日	<0.001 g/m <sup>3</sup> N	0.04 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月				9 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (#アリング口)	2号炉	3月26日	5 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月				19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	煙突 (#アリング口)	2号炉	3月26日	- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
全水銀	1回/4月				- μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度(容積比)は各項目の測定結果の下段に記載しています。